

葦中だより

5月 華

令和6年5月27日発行

『生活のきまり』見直し委員会

4月25日（木）18:30～第1回「生活の決まり」見直し委員会を開催しました。その趣旨は次の2点です。

- ①生徒の手による学校づくりの取組の一つとして、現在の生活のきまりについて大人の力を借りて多面的・多角的に見直す。
- ②生徒が「責任をもって考えたことは実現できるんだ」という実感をもてるようにすることにより「自主・自立」の力を育む。

会議には、生徒代表、教員代表だけでなく、保護者代表の方々にも参加していただきました。参加した生徒代表全員がしっかりと自分の意見を主張できたことが大変立派でした。また、保護者地域の皆様からは、自己の学生時代の体験や子育ての経験を踏まえて助言をいただきました。ありがとうございました。

次に協議された内容と出された意見を一部紹介いたします。

(1)「生活のきまり（校則）」は必要か

【生徒】

- ・必要。社会に出て行くとき、マナーやルールがあるからそれに慣れていくべき。
- ・必要。校則のない学校では乱れる可能性あり。ただ、時代によって変えていくべき。
- ・必要。教師と生徒で考えている校則にすれ違いがあり、統一したい。
- ・必要ない。身だしなみも含めて、ルールにしばられず、自分で考えて行動すべき。

【保護者】

- ・理想を言えば、ない方が良くと思う。それぞれが判断して行動するのは理想だけど、できない人もいる。だから、現実的には必要。
- ・多くの生徒が必要だと思っているのが、意外だった。拘束するためのルールではなく、生徒が快適に過ごすためのルールだったら必要だと思う。

(2)不要なきまりはあるか

【生徒】

- ・髪の毛の長さは自由でいいと思う。髪型を指定することは「個性を大切にする」に反している。

【保護者】

- ・タブレットのガイドライン等はあるのか？
- ・髪型は自由で良いのではないかと。頭髪については、規則を考えるのに一番良い。
- ・髪型について以前は男子は～、女子は～と書いてあった。それを考えると進歩している。縮毛を気にしてパーマをかける子もいれば、白髪を気にし染髪する子もいる。それらの子が快適に生活できれば良いと思う。



修学旅行(3年生)の様子

5月16日(木)～18日(土)まで3年生は修学旅行に行ってきました。スローガン「楽学両道」のもと歴史ある京都・奈良へ行き日本の伝統文化について触れ、仲間と様々な体験をしたり班で散策をしたりしました。学校到着の際には、出迎えの教職員に対して、明るく笑顔で「ただいま」と応えている様子から、行事の充実感が感じられました。



防災学習(1年生)

5月17日(金)に、市役所危機管理課職員を講師に招き、「防災講座」を実施しました。台風の進路や降水量、その被害などを具体例にもとづき分かりやすく説明していただきました。生徒は真剣に耳を傾け、メモをとっていました。また、水害時に使用する土のうの作り方や使い方を学び、土のう作りを行いました。生徒の作った土のうは、実際に各地域で使われる予定です。

部活動に関するアンケート

4月16日～24日の期間で実施しました「放課後時間の有効活用と部活動に関するアンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。アンケート結果を伊豆の国市HPに掲載しましたのでご確認ください。今後は「部活動あり方検討会(仮称)」を開催して、部活動の地域移行に向けて、検討を進めていく予定です。

○アンケート結果掲載先URL

<https://www.city.izunokuni.shizuoka.jp/kyouiku/manabi/iinkai/bukatu.html>

